調査・研修等計画届出書

令和　元年　１０月17日

瀬戸市議会議長　様

議員名　　小澤　勝　㊞

政務活動　として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

記

期　日	令和　元年１０月２９日から　　月　　日まで（　泊１日）	
調査先・研修名	次世代施設園芸団地	
会場名（会場所在地）	高知県高岡郡四万十町本堂 707-58　四万十とまと（株）	
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	園芸王国高知に 2016 年、県内最大面積を誇る 4.3ｈａの四万十町次世代団地（次世代施設園芸高知拠点）が誕生した。 従来型の約３倍となる軒高６ｍのハウスには、最新の統合環境制御装置が整備され、温度、湿度・二酸化炭素濃度といったハウス内環境が、コンピューターによって制御されている。 県内の３事業者が、約 85 人を新規採用し、平成 28 年７月からトマトの栽培をスタートさせ、オランダの最先端の環境制御技術と地元の木質バイオマスエネルギーを活用して、従来の約２倍となる 10ａ当たり 38.4ｔの収量を目指している。	
議長名の依頼	要　・　不要	依頼先（名称）
同行者名	山田治義・冨田宗一・小澤勝・西本潤・長江公夫・三木雪実 戸田由久・宮薗伸仁・柴田利勝・高島淳・朝井賢次	

※行程表を添付してください。

調　査　・　研　修　等　報　告　書

令和 元年　11 月　29 日

瀬戸市議会議長　様

議員名　　小澤　勝

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

期　日	令和　元年　10 月　29 日から　月　日まで（　泊　日）
調査先・研修名	次世代施設園芸団地
会場名（会場所在地）	高知県高岡郡四万十町本堂　四万十とまと（株）
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	「四万十町次世代団地」の内容について 地域産業である施設園芸が盛んな、園芸王国高知に次世代施設園芸拠点が誕生し、地域雇用を含め地場産業活性化を始め地域資源の活用につながる次世代産業育成。

調査先の事業の現状・課題　／　研修で学んだこと・キーワード等

《総事業費》

総額２７億円、その財源として国が２分の１、４分の１が県、４分の１が該当市及び事業者が出資

《運営組織及び内容》

高知県次世代施設園芸団地推進協議会が支援組織となり施設園芸として栽培品目をトマト栽培を核として、耕作面積４．３ha 中心に地域資源を活用した年間を通した収量が計れる企業形態を進める

主な内容として

＊ クリーンな栽培環境

遠征管理の徹底により、病虫害の持ち込みを少なくすることで減農薬栽培の実現

＊ 養液の再利用

トマト栽培に使用する養液は、殺菌した上で再利用

＊ エネルギーの域内循環を実現

地域の木材から製造した、おが粉を燃料にしてハウスの暖房用温水を供給

＊ 衛生的な環境で選別

二十扉構造で外部と遮断し、異物混入を防止

〈現状と今後の取組〉

平成２８年７月より栽培開始し、県内３事業者が約８５名を新規採用。オランダの最先端の環境制御技術や地元の木質バイオマスエネルギー活用により、従来の２倍にとなる 10ha 当たり 38.4t の収量を目指している。

調査・研修の成果・考察
(瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等)

年間を通し、1 年の内 10 ヶ月に渡り安定した収量が計れると同時に、2 ヶ月間の耕作地での苗の育成期間を設けるなど効率の良い安定した土壌状態の確保。
また、チームごとの職域成果の向上としての働き方改革のデータ化などの取り組みがチームとしてまた組織として生産性向上や働く意欲向上に活かされるなど次世代施設の推進が今後の日本の農業施策に活かされることを思います。